学校番号	1009

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	レクリエーションスポーツ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高め
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、球技の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わうことで、今後のスポーツ習慣確立に繋げよう。
・授業全体を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えるきっかけを作ろう。

2　学習の到達目標

・球技やニュースポーツなどを中心に、基礎から段階的に技術やルールを習得していく力や簡易ルールでのゲーム等を理解し実践できるようにする。
・主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できる力を養う
・生涯を通してスポーツの振興発展に関わることができる資質や能力を養う。
・球技の専門的な理解と高度な技術の習得をめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・記録や技能向上に挑戦することができる。 ・運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につけている。 ・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。	・知識を活用し、技能向上につなげようとしている。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 ・運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かすことができる。	・自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとすることができる。 ・健康や安全を確保して学習に主体的に取り組むことができる。 ・結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断することができる。 ・公正・協力・責任・参画などの態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	体つくり運動	オリエンテーション ラジオ体操・補強運動 体ほぐしの運動 体力を高める運動	a: 体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。 b: 自己のねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てるとともに、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。 c: 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わうことができるよう、体力などの違いに配慮しようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。	技能試験	レポート等	受講態度の観察
2学期	授業実践	指導法 指導案作成方法 指導実習	a:良い体育授業の構成要素を理解し、運動量や声量、雰囲気づくりなど工夫を凝らした指導実習を展開しようとしている。 b:自己や他者の指導実習を分析し、良かった点や改善点などを挙げ、それらを自身の実習展開につなげようとしている。 c:指導実習の立案・実施に主体的に取り組むとともに、他者の指導実習にも主体的に参加し、実習のスムーズな展開に協力しようとしている。	指導実習観察	レポート等	受講態度の観察

3学期	ニュースポーツ	アルティメット グラウンドゴルフ モルック キンボール ボッチャ	a: 種目の特性や魅力に応じてゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間との連携した動きを高めて、身に付けている。 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解している。 b: 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた球技を継続するための取り組み方を工夫している。 c: 種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。	技能試験	レポート等	受講態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度